JWU キャリアライフセンター開設

坂本　清恵

開学 120 周年を契機に始まった学部学科再編とともに、2024 年から、学生それぞれが描くキャリアに対してどのような教育を行い、社会で活躍する人材を適材適所に送り出すサポートを行うには、どのような組織が必要なのか、また、学生確保に就職サポートの特徴をいかにアピールするのかなどが 2 年にわたり議論された。そして、2026 年 4 月に、学生時代からの体系的なキャリア教育に加え、卒業後も母校でキャリアアップを続けられる機関として「JWU キャリアライフセンター（略称 JCLC）」が設置されることとなった。

その根幹には、創立者・成瀬仁蔵が提唱した「生涯教育」の理念があり、人生 100 年時代、まさに女性が生涯を通じて社会で輝き続けるためには、単なる就職支援に留まらない継続的な教育と支援が不可欠である。すでに日本女子大学は、大学初のリカレント教育課程を 2007 年に開始し、社会人女性のキャリア構築に寄り添ってきたが、ほぼ 20 年にわたる蓄積を大いに活用していく。JCLC は、入学直後からの在学中はもちろん、卒業後にも気軽に立ち寄って相談し、必要に応じた学びを受けられる仕組みの構築を目指している。開設前の 2026 年 1 月から HP を開設し、在学生、卒業生へのキャリア相談を開始したが、徐々に活用が始まっている。

大学と卒業生との関係性を一層強化し、卒業生の大学への帰属意識や貢献意識を強め、卒業生に在学生にとってのよきロールモデルとしての役割や、また所属先でのインターンシップの提供などでも相互交流を深められるような構図を模索している。大学コミュニティ全体の活性化を図るという、循環型の支援を可能にしていきたい。早速、今年度は、フランス企業であるダッソー・システムズ株式会社の執行役員人事本部長である、卒業生のミルハウス邦子氏から多様なバックグラウンドを持つメンバーと協働し、グローバルな職場環境への理解を深めることで、グローバル企業での働き方を体験する夏休み 5 日間のグローバルインターンシップをご提供いただいている。

また、単に個人の支援に留まらず、企業、諸官庁、教育機関との連携を推進し、社会のニーズに即した女性リーダーの育成や管理職養成の場としても機能を果たせるよう拡充を目指すが、特に文部科学省、経済産業省などの諸官庁が進めるリスキリング施策の情報を収集・活用し、企業との共同講座や連携研究を組織的に推進するハブとしての役割を果たしていきたい。

キャリア教育とキャリアサポート

JCLC では、図 1 のように大きく分けて「キャリア教育」と「キャリアサポート」との二つの柱で支援を展開する。

（1）キャリア教育の体系化

在学生のためのキャリア教育が主眼である。キャリア委員会を中核に据え、「JWU キャ

リア科目」について女性が社会で力を発揮するために必要な思考力と実践力を育むカリキュラムを作り上げてきたが、常に見直しを行い社会情勢と学生のニーズに見合ったものにする。また、2026 年度に、生涯学習センターから移管した、各人が希望するキャリアに必要な資格取得を目指す「キャリア支援講座」と在学生向けの就職ガイダンスを有機的に結びつけ、その対象を卒業生にも広げていく。2026 年度は企業との連携講座として、野村證券株式会社から金融リテラシー向上のための「社会人基礎力シリーズ　お金の話」のオンデマンド動画をご提供いただき、在学生、卒業生、リカレント生が受講している。

また、2027 年度には、現在は生涯学習センターに設置されているリカレント教育課程を JCLC に統括する予定で準備に入っている。いずれは、リカレント教育課程の一部を在学生に開放することも視野に入れて検討を行っていく予定である。これにより、学生は在学中から卒業後のキャリア形成を具体的にイメージすることができる。

なお、本年は卒業生のためのキャリア講座として、全 6 回の「コーチング実践講座」をオンラインで実施、生涯学習センター講座からは、秋元健治先生による対面での全 2 回の「ビジネスに役立つ AI・データ分析」をご提供いただいた。

（2）キャリアサポートの拡充

従来の在学生（新卒）向け就職支援に加え、卒業生やリカレント生に対する転職・再就職サポートを大幅に強化する。卒業生の会である桜楓会とともに卒業生のためのキャリアカウンセリングの充実を行う。また、インターンシップ報告、就職結果、卒業生の職場状況などのデータを関連付けた「クロスリファレンス・データ」を整備する必要があるが、これを現代女性キャリア研究所と連携して分析し、学生自身が利用できるように提供するとともに、支援プログラムの策定に活かす予定である。学生の多様な指向性への対応を考慮し、最適なプログラムの提供を行っていく。また、リカレント教育課程で培ってきた企業・団体とのネットワークを維持・活用し、実践的な再就職支援の継続を図りたい。

図 1

キャリア教育	キャリアサポート
・JWU キャリア科目の充実 ・インターンシップの整備 　国内外のインターンシップの統括 ・キャリア支援講座 ・キャリアセミナーの実施 ・卒業生向けキャリア講座 ・リカレント教育課程（2027 年度から） 　リスキリングを含めた講座の設置 ・大学院での履修証明プログラムの開設 ・企業との協働での講座の設置	・キャリアガイダンス ・就職個別相談 　本学職員 　キャリアカウンセラー 　東京労働局からの派遣 ・企業、諸官庁との情報交換 ・社会人向け就職先の開拓 ・卒業生の追跡キャリア調査 ・現代女性キャリア研究所との情報共有 ・蓄積データの分析活用

以上、JCLC は、日本女子大学が蓄積してきた知見に基づき、学部、大学院、リカレント教育を主体とした新たなキャリア教育プログラムを構築するための重要な拠点となる。これは単なる就職窓口の統合ではなく、「社会で活躍する女性を育成し、支え続ける」という大学の使命の具現化を目指すものである。

（さかもと　きよえ　JWU キャリアライフセンター所長）